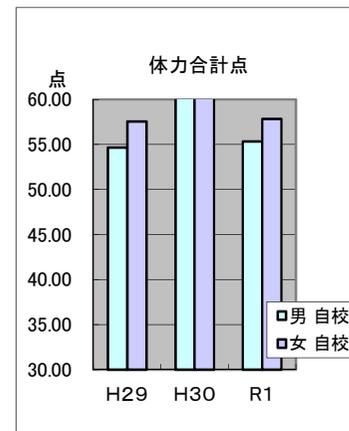
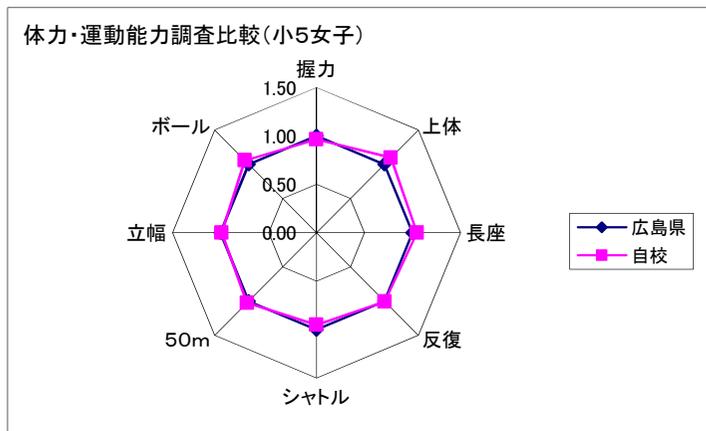
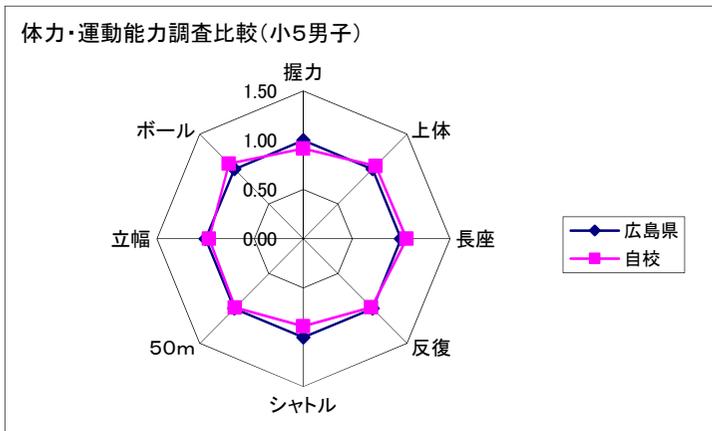


男子の体力合計点 学校 55.34 点 県平均 56.09

女子の体力合計点 学校 57.83 点 県平均 57.92



R1体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)

- 5年生女子は県平均を上回ることができたが、男子は上回ることができなかった。体育科での走る運動量の確保や、目標値を具体的に設定し、児童の意欲を高めることを行ってきたが、年間を通して十分徹底されていなかった。
- 全校的にも女子は県平均を上回る学年が多いが、男子は半分の学年が上回ることができなかった。
- 今後も体育科の授業を含め、短い距離を全力で走る練習や素早いスタートの練習を継続して行うことや、児童の運動量、意欲を高める取組が必要である。

②ソフトボール投げ(中学校区の課題種目)

- 5年生は、男女ともに県平均を上回ることができた。これは、投げるときのコツを伝え、繰り返し確認することで、ポイントを押さえた投擲ができたことが要因としてあげられる。
- 全校的には半数の学年が県平均を上回っている。
- 今後も練習量や運動量を増やすことができるよう、体育科授業以外での取組を仕組んでいく必要がある。

③長座体前屈(自校の課題種目)

- 5年生は、男女ともに県平均を上回ることができた。これは、体育科での柔軟運動の時間の確保や、目標値を具体的に設定し、児童の意欲を高めることを行ってきたことが要因としてあげられる。
- 全校的には県平均を上回る学年は少ない。
- どの学年も日常的に柔軟をする場や機会を意図的に増やしていくことが必要である。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・ 休憩時間に50m走に挑戦できる場と機会を設け、走る意欲を高める。 ・ 秋に実施する陸上同好会の練習を5・6年生全員参加とする。 ・ 腕ふりなど、速く走るための練習に取り組む走力強化期間を設定し、家庭・学校で連携し、全員が取り組む回数や指導の機会を増やしていく。
具体的な数値目標 (男子0.3秒, 女子0.2秒)	
②中学校区の課題種目 (ソフトボール投げ)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・ 体育の授業に投げる力を向上させる運動を取り入れる。 ・ シャドーピッチングなど、投擲運動のための練習に取り組む投力強化期間を設定し、家庭・学校で連携し、全員が取り組む回数や指導の機会を増やしていく。 ・ 目標とする各学年の記録を掲示し、具体的な数値として自己の目標記録を持たせ、複数回挑戦できる場を設定する。
具体的な数値目標 (男子 2m, 女子 2m)	
③自校の課題種目 (長座体前屈)	具体的な取組内容 ・ 体育の授業や準備運動の時間に柔軟運動を取り入れ、継続的に運動の機会を設ける。 ・ ストレッチなど、柔軟運動に取り組む強化期間を設定し、家庭・学校で連携し、全員が取り組む回数や指導の機会を増やしていく。 ・ 目標とする各学年の記録を掲示し、具体的な数値として自己の目標記録を持たせ、複数回挑戦できる場を設定する。
具体的な数値目標 (男子3cm, 女子3cm)	

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)